

夏合宿ケースメソッド紹介

サントリー、PB 製品受託生産の是非

2008 年夏、サッポロを抜いてビール系飲料業界 3 位に浮上し、麒麟およびアサヒという二大メーカーへの追走体制を整えたサントリーは、日本における小売業最大手のイオンおよびセブン&アイから PB 製造をほぼ同時期に依頼された。この PB 製造依頼 2 件に対して、サントリーはいかに返答するのが得策であろうか。自社 NB との食い合い、企業ブランドイメージの毀損、流通業者側へのパワーシフトといった様々な問題が本ケースの焦点である。

開題者紹介



小野ゼミでは罰ゲームのように言われる夏ケース開題であるが、夏休みは卒論以外マーケティングに触れる機会が無く原案は自分ということで、内心、僕は楽しみにしていた。皆には迷惑をかけたが、開題班で本当に良かった。スーパーでビールを見る度、メーカーの裏事情を思い浮かべていたあの夏を思い出します。

石田 陽一朗

ブログのコメントが少ないという理由で入ゼミケース開題メンバーになり、色々あって夏ケース作成を行いました。合宿前日には 2 人しか作業できないという非常事態に直面し、一時は切腹も検討したが、ギリギリのところ回避されました。最後の最後までドキドキが止まらない夏ケースになりました。

岩崎 裕士



夏合宿の 3 日ほど前に岩崎からヘルプのおねがいを受け、ほんのちょっとお手伝いいただけですが、正式メンバーとしてこのエッセイを書かせてもらえる幸せ者です(笑)。岩崎と 2 人で 9 期十ゼミにくっついて、横浜のドトールで小野先生に最終オッケーをもらえた感動は忘れません。

荻野 真央

全体的には、なんとなく流通だからか、石田に頼り、また、3 日前からの方向転換～前日の詰めの作業の多くを、岩崎に任せてしまいました…。ごめんなさい&本当にありがとう…。ブログのコメント数の少なさからはじまった夏ケース開題ですが、このメンバーでよかったです。みんな、おつかれっ！

島本 季依



まさかここに私のコメントが載ることになるとは思ってもなかった…。バイトにサークルにと最後の夏休みをエンジョイするはずが、やっぱり小野ゼミは私を放してくれませんでした。でもね、エグ楽しい夏ケースの記憶とともに、私の名前を 9 期生の中に残すことができちゃっぴり嬉しいかも。みんなもブログにはちゃんとコメントしたほうがいいよ(笑)。

鈴木 もも